

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
臨床見学実習	前期	1 学年	必修	1 単位	45 h
担当教員名	メールアドレス		オフィスアワー		
◎平野康之, 吉松竜貴, 河江敏広, 遠藤悠介, 杉山 聡	yasuyuki.hirano@tohto.ac.jp tatsuki.yoshimatsu@tohto.ac.jp toshihiro.kawae@tohto.ac.jp yusuke.endo@tohto.ac.jp satoshi.sugiyama@tohto.ac.jp		各担当教員より提示される		
授業の概要					
<p>臨床見学実習は 1 年次に実施する。実際に働く理学療法士を見て、その仕事内容や役割を知り、医療施設以外で働く理学療法士の必要性や意義などを早い時期から学ぶことで、自身の理学療法士としての進路選択の一助とする。また、多職種が対象者一人一人に向き合うチーム医療の重要性を学び、高齢者や障害を持つ人が実際にどのように生活しているかを知ることで、理学療法を学ぶ意欲の醸成を行う。実習前に事前学習をおこない、実習後見学した内容を学内で発表する。</p> <p>現場での実習期間は 1 週間（5 日間）であり、実習の前後に学内で行われるオリエンテーションも本科目に含まれる。</p>					
キーワード	到達目標				
地域理学療法, リハビリテーション, 介護保険制度, 多職種連携	<p>① 実習施設の概要（組織、理念、役割など）を理解する。</p> <p>② 実習施設が提供するサービス内容(入所、通所、在宅)について理解する。</p> <p>③ 対象者の障害、または諸機能（身体機能、認知機能など）について理解する。</p> <p>④ 理学療法士（機能訓練担当者）の具体的な業務や役割を理解する。</p> <p>⑤ 他のリハビリテーション関連職種（看護師、介護士など）の具体的な業務や役割を理解する。</p>				
学習内容					
<p>※ 臨床実習要綱「学外実習の手引き」を別途に定めている。実習は全てこれに基づいて運営される。</p> <p>① 学内事前学修（オリエンテーション）</p> <ul style="list-style-type: none"> 理学療法士が携わる分野や実習を行う施設について事前学習を行う。 学生としての基本的な実習態度について学び、準備する。 <p>② 学外実習</p> <ul style="list-style-type: none"> 単独施設で 1 週間（5 日間）の臨床実習を行う。 臨床実習指導者の指示に従い、指導者の助言を受けながら、見学を中心に学習する。 指導者や関係スタッフ、対象者とのコミュニケーションを取る。 <p>③ 学内事後学修</p> <ul style="list-style-type: none"> 学生が経験した実習内容についてレポート提出などを行う。 					
受講要件					
実習開始までに、1 年次前期に開講される必修の専門科目および専門基礎科目の成績判定に必要な条件（出席日数など）を満たしていること。					
評価					
レポート	その他		合計		
100%			100%		
教員からのメッセージ					
<p>理学療法士が働く現場を理学療法士からの視点で見学し、得た実体験が自身の理学療法士としての進路選択の一助になるよう積極的に学んでください。学生として節度ある態度で臨みましょう。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染拡大などにより、実習施設（老人保健移設や訪問看護ステーションなど）での実習が行えない可能性があります。その場合は学内での実習に切り替えて行います。</p>					